

VOL.141

農協からのお便り

12
2019

グリーン
G

地域と農業をむすぶJA広報誌

green



今月の表紙

馬鈴薯共同選果作業

Topics

- ・特集：私が思う今後の農業展望
- ・JA北海道実践フォーラム
- ・収穫感謝祭を開催

他

菊水地区

JA馬鈴薯選果場



JA 上川中央

URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>

「農業を支える意気込み」は地元を愛する何よりの証し

農業・農協改革がより一層求められている中、JAが組合員・地域に根ざした農協事業を行うにはそれらの礎となる組合員の理解と協力がなければ成り立ちません。そこで、今回の特集第2弾では、地域・農協を支える各生産部会の長からお話を伺います。



●愛別町米麦生産振興協議会 会長

鉛口裕二さん

(株式会社金富農産 代表取締役)

昭和47年	愛別町生まれ
平成3年3月	旭川工業高校卒業 旭川市内の建築会社へ就職
平成5年4月	建築資材会社へ転職
平成7年4月	就農
令和元年4月	株式会社金富農産 設立 現在に至る

《経営概要》

- ・水田50ha (主38ha、加5.5ha、飼6.5ha)
- ・大豆 2ha

父の勤めもあり、平成6年の結婚を機に就農してから早20年余り…。
「その後は山あり谷ありの人生だったと思います」と口にされた鉛口さん。そうした言葉からは、いままで歩んでこられた深い想いが感じられます。

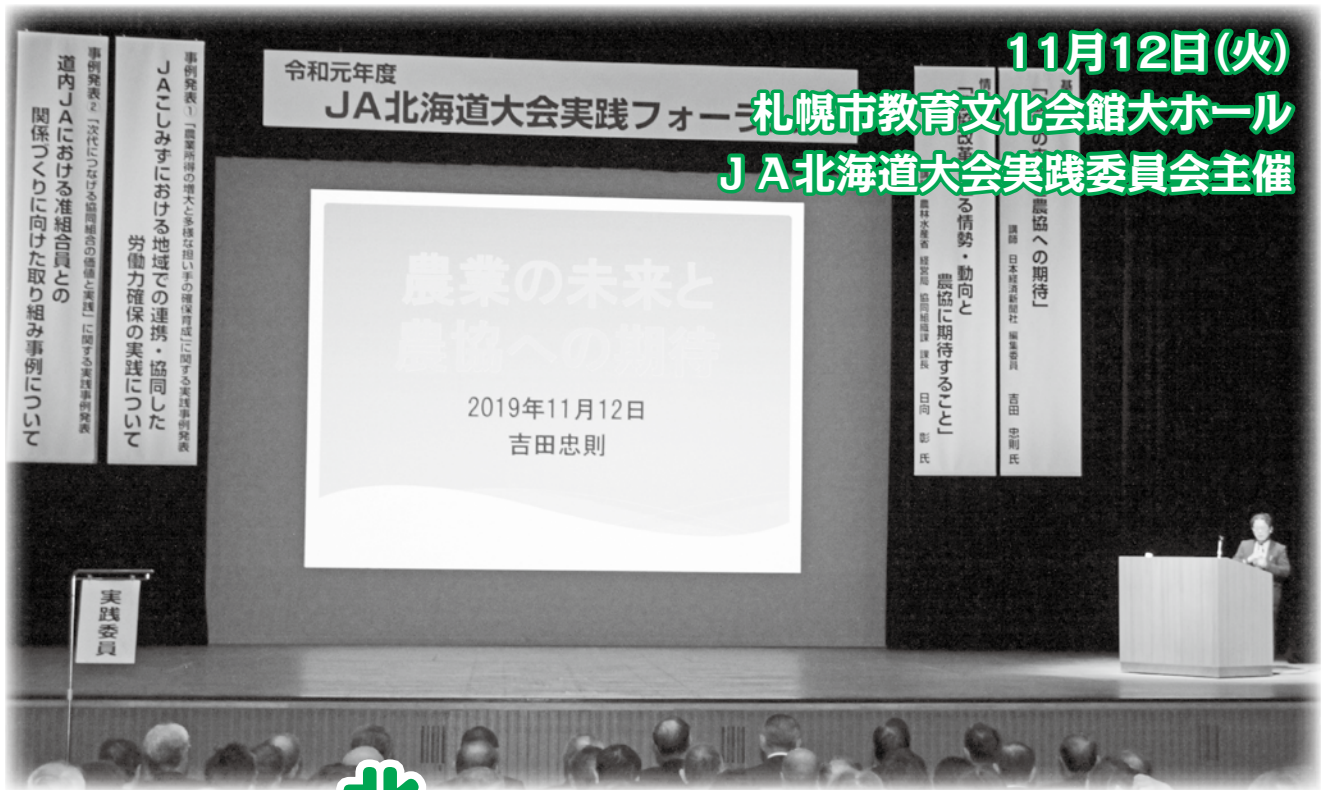
愛別町米麦生産振興協議会の会長となって4年。「最初は、会員をまとめていけるだろうかという不安はありました。けれど、父から教わった『迷ったらやってみる、悩んだら原点にもどる』という言葉が私の背中を押してくれているのだと思います」。

そんな言葉に、不思議と共感することが多いことに気づかされます…。

農業だけに限った話ではありませんが、人口減少による労働力不足や消費の減少、生産環境の変化など対応しなければならない課題は多い…。しかし、「消費者から選ばれる物づくり、作業環境の改善、生活の充実感を大切にしたい」という鉛口さんの思いは、今後の協議会運営に対する強い意気込みに感じます。

「仕事終わりのビールが何よりの楽しみ！」という鉛口さん。そんな会長を中心に会員みんなで目標に向かって進むことができたなら、より地域に貢献できるのだと感じます。

JAや地域を取り巻く環境も大きく変化している時代…。そんなときだからこそ、生産者だけでなくJA・地域を含め、みんなで取組んでいくことが何より大切だと感じました。



11月12日(火)

札幌市教育文化会館大ホール
JA北海道大会実践委員会主催

北海道550万人と共に創る

「力強い農業」と

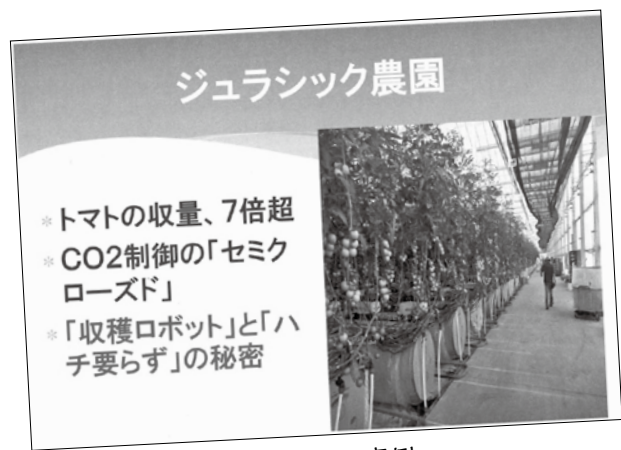
「豊かな魅力ある農村」

JAグループ北海道の一員として役員及び青年・女性部でフォーラムに出席しました。

去る平成30年11月に第29回JA北海道大会で目指すべき将来ビジョンとして、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』を前回大会より継承し、その実現に向け共有すべき課題及び重点取組事項を確認しました。

一方、JAの自己改革を巡る情勢については、本年5月までに農協改革集中推進期間における農水省の評価総括が9月に出され、「JAグループの自己改革は進展」と評価したうえで、今後の「農協経営の持続性」に対する課題が提起されました。

こうした中、JAグループ北海道としては「改革は自ら行つもの」との認識にたち、実践フォーラムを開催し大会決議事項の実践事例や課題を共有するとともに、決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成に繋げてまいります。



参考取組み事例…

当女性部員も全道で活躍…

JA女性部北海道リーダー研修に参加

11/7~8
JA女性部



シャトレレーゼ・ガトーキングダムサツポロでJA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会が2日間の日程で開催されました。

当女性部からは、藤村・前佛(愛別)、辰巳・遠藤・阪本(上川)、成田(フレミズ)が出席しました。

辰巳部長は北海道女性協議会の副会長のため、1日目の総会司会を今年も担当しました。

講演では日本協同組合連携機構 主任研究員 文珠正也氏より、「学ぼう、地域でとりくもうSDGs」を拝聴、「家の光記事活用体験発表」や「手づくり工夫展」の見学など各地区の活動を学びました。

出席者全員での「女性の歌」合唱では、北海道女性協議会フレッシュミズ副会長の成田部長も壇上へ。

忙しくも有意義な交流ができた2日間でした。

子供も参加して令和の収穫に感謝…

収穫感謝祭を開催

11/12
JA青年部・フレミズ



JA青年部とフレッシュミズが合同で収穫感謝祭を上川町で開催しました。

その年の収穫に感謝をするこのイベントは、各役員と一緒にお子さん達も参加し各関係機関からも沢山のご出席をいただきました。

今年はお米をはじめ各作物とも稔りの多い年となり、皆さん終始和やかな雰囲気の中来年の出来秋を期待しながら懇親を深めました。

お客さんも興味津々に購入…

『ゆきさやか』販売スタート!!

営農部より



愛別町で作付けをしている『ゆきさやか』が、YCゆめびりか・ななつぼしに続いてJA上川中央愛別町産のパッケージで販売される事となりました。

販売先は、道外のCGCグループのスーパーが中心ですが、北海道では、旭川のウエスタン3店舗とスーパーアークス東光店で販売されます。

今回は、スーパーアークス東光店で試食販売、お客さんの反響は、初めて『ゆきさやか』という名前を聞く人が大半で興味津々に購入して頂きました。



青年主張で佐々木孝志君が素晴らしい発表… 上川地区JA青年部大会に参加

11/14
JA青年部



青年主張発表者
佐々木孝志君



JA上川地区青年部
部長 高田峰雄さん

旭川トーヨーホテルで令和元年度上川地区JA青年部大会が開催され、当青年部からは12名が参加しました。

今回の大会は、動画で配信！農の魅力コンテスト（1分間CM）で米を収穫するまでの写真を使い、農業の魅力をPRする動画を出品。青年の主張発表大会には佐々木孝志君が「私を照らしてくれた太陽」と題して、青年部の素晴らしい、人と人との繋がり大切さについて発表。

アームレスリング大会に岡田恭兵君が出席。純農Boy上川オーディションは遠藤雅大君が純農つばりを「ひげダンス」をしながらPRするなど会場を沸かせてくれました。

惜しくも、今回の大会ではどの部門も入賞にはならず、全道大会への切符を手に入れることが出来ませんでした。青年部大会が意義あるものとなりました。

未来を拓く協同組合 JAと農業

未来を拓く協同組合 JAと農業

監修=JCA
(日本協同組合連携機構)

JAが進める「米の消費拡大」

日本人の米の消費量は減少傾向にありますが、単身世帯や共働き世帯が増える中で、中食・外食業者等が求めるいわゆる業務用米の需要は増加傾向にあります。JAグループでは、こうした需要への対応を生産者と一体となって進めており、例えば回転寿司チェーン向けには適度な粘りやばぐれやすさを持つ品種、加工米飯メーカー向けには大粒で粘りが少ない品種を選定し、契約栽培に取り組んでいます。近年では国外の需要にも目を向け、輸出の具体化に向けた取り組みを強化しています。

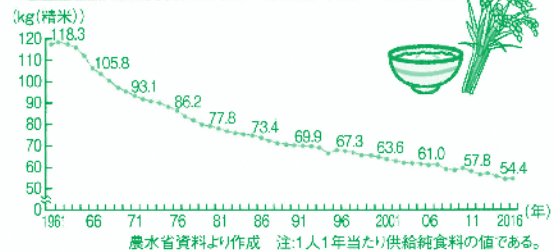
一方、消費者の関心を高めることにも力を入れており、全国レベルでは全農がウェブサイト「NO RICE NO LIFE PROJECT」、全中がウェブサイト「とれたて大百科」を運営しており、米の魅力を総合的に発信しています。また、日本の食卓と豊かな国土を支えてきた稲作農業を学ぶ機会として、次代を担う子どもを対象とする「バケツ稲づくりセット」の配布、「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールなどにも取り組んでいます。

語句解説

【米】(こめ)

日本の農業産出額(2017年度)は9兆3787億円。そのうち、米は1兆7456億円です。主食用米の収穫量は730万6000^ト。米の1人当たり年間消費量は、ピークの1962年度の118.3^{kg}から一貫して減少傾向で推移し、2017年度は54.2^{kg}となりました。業務用米の需要拡大等は見られるものの、主食用米のトータルでの需要量は毎年8万トン程度のペースで減少が続いています。こうした状況の中で、飼料用米や米粉用米など主食用米以外の米に取り組む動きが広がっています。

米の年間1人当たり消費量の推移



子ども向け「バケツ稲づくりセット」の取り組み



平成元年(1989)年より始めた「バケツ稲づくりセット」は延べ1000万人を超える子どもたちに配布しました。

ウェブサイトで情報発信



おにぎり食べてダイエット方法を全農のウェブサイトで発信しています。

耕そう、大地と地域の未来。

「害虫駆除のために 余剰トウモロコシを輸入する」 のは、誤っている

追加輸入ありきで理由は後付け

二〇一九年八月二十五日、日米首脳会談で日米交渉の基本合意が発表された際の記者会見で、嬉しそうにトランプ大統領が安倍総理に「米国の余剰トウモロコシを数百億円分買う約束のことと話してくれ」と促し、総理は「害虫駆除(？)の必要から前倒し購入する」と応じた。

それにしても、日本の飼料用トウモロコシの年間輸入量、約一〇〇〇万トンの約三か月分、二七五万トン(トン二万円として約五五〇億円)は大量である。政府は害虫による食害対策として輸入すると説明しているが、つじつまが合わない。なぜなら、

(一) 害虫は確認されているが、食害はほとんど起きていないと農林水産省の担当課も認めた。その後「被害は確認していない」と表現を変更したが、意味は同じである。

(二) 食害が懸念されている日本の飼料用トウモロコシは葉や茎を青刈りして発酵させる粗飼料であるが、米国から輸入しているのは濃厚飼料となるトウモロコシの実(粒)で用途が違う。粗飼料と濃厚飼料の給与にはバランスが必要で、単純に代替できない。

(三) 「すでに八月八日に政府は前倒し輸入を決めていたのだから、食害対策が先にあった」という指摘もあるが、五月末の東京での日米首脳会談のあと、トランプ大統領が「日本との貿易



すぎき・のぶひろ

1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。農業総合研究所研究交流科長、九州大学教授などを経て、2006年より現職。専門は農業経済学、国際貿易論。著書に『食の戦争～米国の罠に落ちる日本』(文春新書)、『ここが間違っている!日本の農業問題』(家の光協会)などがある。

交渉で大きな進展があった。農産品と牛肉は大変な影響がある。七月の選挙の後、大きな数字を期待している」とツイートし、加えて、記者会見でも「おそらく八月に両国にとって素晴らしいことが発表されると思う」と発言したことを思い返せば、五月の時点で穀物輸入が決まっていたと考えるのが自然である。

(四) 追加でなく「前倒し」で総輸入量は増えないという国の説明もあり得ない。輸入総量が増えないなら米国にとって何の意味もない。増えるから米国農家とトランプ大統領は喜んでいて、少なくとも米国側が単なる前倒しで了解していることはあり得ない。「国民は適当にごまかしておけばよい」という姿勢がエスカレートして

きているように思われる。

(五) 国産のコメをトウモロコシに代わる飼料にしようと推進しているエサ米政策とも真つ向からバッティングする。

要は、米中貿易紛争の「尻拭い」で約束させられたが、そうは言えないので理由を探してこじつけた「追加輸入ありきで理由は後付け」である。

全農などの輸入業者は対応に苦慮している。国内に保管できる場所はない。しばらくは、ニューヨークの全農のカントリー・エレベーターに保管して、日本には持ってこずに、第三国に米国から運び、二束三文で売り、差損は全農が引き受けざるを得ないのか、バイオエタノールをつくるのか、そもそも、米国からバイオエタノールを買うか、といったアイデアが取りざたされている。

日本の畜産農家は救われるどころか 高い飼料代に苦しめられる

米国では、中国の米国産大豆の輸入減が大問題になっており、トウモロコシは、近年、米国からの中国向け輸出はほとんどなかったが、今回の米中協議で中国は米国産トウモロコシを輸

入すると一度は提示し、反故にした。

また、トランプ大統領がガソリンへのエタノールの混合を義務付けた規制を緩和したため、米国でエタノール向けのトウモロコシ需要が減って、トウモロコシ需給が軟化、シカゴ相場が暴落している。米国農家は大豆とトウモロコシと小麦を輪作しているので、日本のトウモロコシ買い付けで相場が上昇すれば、米国の穀物農家は助かるが、日本の畜産農家は飼料コスト高で損失を被ることになる。

一部に、安いトウモロコシが買えて日本の畜産農家が助かるとの見解があるが逆である。シカゴ相場を上げて米国農家を救うのが目的だから、日本は使えないものを買わされたうえ、飼料全体の価格も高くなり、迷惑なだけだ。

エンドレスな「二五%」の威嚇効果

恐ろしいのは、味をしめた米国大統領は、引き続き二五%関税をちらつかせることで、際限なく日本に様々な「尻拭い」を要求してくるということである。威嚇されるたびに、毎年三〇〇万トン近く買わされたら、あつという間に一〇〇〇万トンになってしまう（実際、八月二十五日の第一報では、日本政府高官の発言として

日本が約束した輸入量は一〇〇〇万トンとの情報駆け巡った）。これでは「底なし沼」である。

それにしても、日本は、先に「農産物は（少なくとも）TPP水準までは譲る」という交渉カードを切ってしまうって、あとは、「自動車に二五%関税をかけられるよりはましだろう」と威嚇され、自動車関税の撤廃を反故にされ、トウモロコシまで買わされる、という、絶対に負ける交渉を展開した。交渉術としても、どう考えても理解に苦しむ。

占領政策の総仕上げ

振り返れば、戦後の米国の占領政策は、まさに、日本を、小麦、大豆、トウモロコシなどの米国の余剰穀物の最終処分場とすることだった。その方針が貫徹され、小麦、大豆、トウモロコシの自給率は急速に下落し、今や、小麦が一〇%程度、大豆が七%程度、飼料用トウモロコシはほぼ〇%と、もう「満杯」状態まで輸入している。「もうこれ以上、人も牛も食べられない」と言っているのに、そこに無理やり「まだ買え」というのが今回のトウモロコシの追加輸入だ。まさに、最終処分場だ。その点では、占領政策の総仕上げ段階と言えるかもしれない。

するーライフ 2章

「花咲く日まで…再起をかける将棋“駒師”」

令和元年も余す所1ヶ月。災害の多いことが特筆される年であった。北海道へ針路をとった台風は比較的弱まった形で北上した。

大雨被害も多く水を含んだ傾斜地は崩落し家屋をなぎ倒し、多くの同胞を失った。台風被害は甲信越から東北地方の優良河川の決壊にまで到った。収穫期と重なった果樹園の果実が泥流で泥まみれ、自然の脅威を感じずには居られなかった。被災地の1日も早い復興を願うだけである。そうして来年への願いとして、あらゆる農産物が自然の恵みの中で豊かなることを合わせて願いたい。



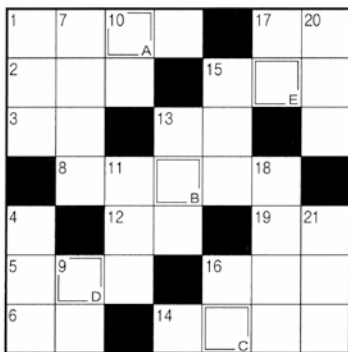
ところで今回は良き歳を願い、新春には対局中継などがあり華やかでもあり厳しい将棋の世界の話を紹介したい。現在プロの将棋界には8個のタイトルがある。羽生名人が当時のタイトル総べて保持したニュースもそう古くはない。しかし現在は8人でそれぞれタイトルを分け合う群雄割拠の時代を迎えている。その将棋界を裏で支える駒師の話題に出会った。タイトル戦に臨む2人の棋士は対局前のお祓いを済ませ、対局室に入る。タイトル保持者は座して検分に移る。用意された数種の将棋の駒を入念に調べ、手触りなどの感触を確かめるのである。日頃見掛ける将棋の駒入れではなく桐箱に40駒が整然と納められ、「うるし」で細く盛り上げられた数十万円から百万円代の駒が対局で指されるのである。

本つげ材を1駒ごと彫り、その細い彫り溝に「うるし」を盛り上げる。40駒が均一な出来栄えて初めて価値が生まれ「盛り上げ駒」としての評価が下るのである。2人の駒師を取り上げたドキュメンタリーであったが、指先まで鋭い神経が望まれるしごとである。著名なプロ棋士に対局で指名されるか品評会でコレクターの目に留まるか、道を究めようとして苦悩が続く。交通事故で妻を亡くした失意から駒師の道を目指したE氏が羽生名人タイトル100戦目の駒に選ばれた画がラストに流れ彼の満面の笑みが苦悩を物語った。

60歳を目の前に出世争いで脱力感を感じてサラリーマン生活に終止符を打って駒師に転じた彼の姿もカメラは追った。師匠と慕う人に出会い厳しい指導を仰ぐ。消極的な姿勢を責められ駒師としての行く末が読めなかった。考え方を变えて数種の駒を彫った。品評会で彼の駒を見たコレクターが仕事場を尋ねた。

コレクターの口から駒への絶賛の声が上がった。この日のために励んだこの駒師にも安堵の笑みが零れた。かなり長い年月が経過していた。将棋観戦の時、対局者の手元の駒をじっくりと見よ。「目撃! にっぽん 11月24日」より

パズル? 頭の体操



タテのカギ

- 1 毛糸や棒針などを使って楽しみます
- 4 年賀状を書くために買ってこなくちゃ
- 7 積み上げて棚を作ることも
- 9 ポンポンと突いて遊びます
- 10 ツキノフ、ホッキョクといえば
- 11 肌のこと。ドライー
- 13 食用にするユリの鱗茎(りんけい)
- 15 OPECは——輸出国機構の略称です
- 16 もろみなどを搾った後に残る物
- 17 水道、電気と並ぶライフライン
- 18 グルメとも呼ばれる——家
- 20 AMを聞くような、FMにしようかな
- 21 言葉のキャッチボールです

ヨコのカギ

- 1 手にはめる防寒具
- 2 良い香りがする——キャンドル
- 3 リンゴの芯の周りに入っていることも
- 5 つらさをぐっと耐え忍ぶこと
- 6 穴を開ける工具
- 8 結婚指輪をはめるところ
- 12 餅をつく人が手に持ちます
- 13 冬空から降る白い物
- 14 ロシアの首都です
- 15 怖い話を聞くと凍りそう
- 16 住み込みではありません
- 17 無地の物には付いていません
- 19 トナカイもこの仲間

先月号の答え

パズル? 頭の体操



解答 A B C D
コ ガ ラ シ

JAのあゆみ 11月

5日	上川地区農協監事道内視察研修 (7日 十勝)
7日	第4回上川地区農協米対策委員会 (旭川)
12日	JA北海道女性リーダー研修・北海道家の光大会(8日 札幌)
13日	第3回愛別町農業青色申告会役員会 第3回愛別町野菜振興協議会役員会 JA北海道大会実践フォーラム (札幌)
14日	JA役員視察研修(13日 札幌)
14日	JA青年部・フレミズ収穫感謝祭 愛別地域役員推薦会議
14日	JA女性部愛別支部役員会 上川地域役員推薦会議
14日	JA上川地区青年部大会(旭川)
17日	農家経済対策委員会 愛別農業委員会視察研修 (20日 中部)
17日	JA青年部役員会 企画会議
22日	愛別町青色申告会講演会 (26日 旭川)
22日	年金友の会温泉湯治 (29日 層雲峡)
27日	愛農機連役員会 そ菜畑作合同反省会
27日	第4回北海道もろ米団地農協連絡協議会 (札幌)
29日	第10回定例理事会 資産評価委員会 営農経済専門委員会 コンプライアンス研修会

組合員のうごき

(令和元年 10月24日現在)

総組合員数	2,346名
正組合員数	525名
うち団体数	33団体
准組合員数	1,821名
うち団体数	61団体

第9回定例理事会

令和元年10月24日開催

■報告事項

- 1 組合員の脱退について
3名の脱退について報告した。
- 2 固定資産の取得について
馬鈴薯用コンテナの取得について報告した。

■議事

- 1 組合員の相続について
1名の相続増口、1名の相続加入について承認された。
 - 2 組合員の加入報告並びに組合員資格について
5名の新規加入が承認された。
 - 3 組合員の出資減口について
1名の減口について承認された。
 - 4 理事に対する資金の融資について
2件の融資について利益相反者3名退席のもと審議され、承認された。
 - 5 農事組合活動助成金の支給基準について
活動助成並びに贈答品の基準単価について承認された。
 - 6 令和元年度馬鈴薯概算金による仮渡金について
生産量に対する仮渡金について承認された。
 - 7 規程類の部改正について
1件の改正内容を説明し、承認された。
 - 8 行政に対する要望書について
令和2年度の愛別町・上川町に対する要望内容を協議し、承認された。
 - 9 外部出資の全口譲渡に伴う脱退について
外部出資の譲渡脱退について協議し、承認された。
- 報告事項
1 不祥事件発生に伴う内部牽制機能の着点検報告について
点検結果について報告した。

お知らせ 金融窓口業務における通帳コメント印字サービスの終了

お客さま各位

日頃よりJAバンクをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
さて、この度、誠に勝手ながら令和1年11月29日(金)もちまして、『金融窓口利用における通帳コメント印字サービス』を終了させていただくこととなりました。
なお、窓口利用による通帳コメント印字サービスは終了いたしますが、口座自動引落におけるコメントにつきましては、従来通り印字されますので通帳をご確認くださいよう、お願い申し上げます。
サービス終了に伴い、皆様にはご迷惑をおかけ致しますことをお詫び申し上げますとともに、今後ともお客様にご満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い致します。

1月8日(水) 営業時間変更のお知らせ

新規就農者激励会及び役職員新年交例会の開催にともない、下記のとおり営業時間を変更させていただきます。
今年度の新規就農者激励会の対象者は、6名です。
組合員の皆様には営業時間変更にともないご不便お掛けいたしますが、ご理解頂きますようお願い申し上げます。

記

- 月 日 1月8日(水) 16:00まで
- 部 署 全て(総務・金融・営農・資材・給油所・農機センター・精米所)


 白身魚のグリルサラダ
 きのこのバルサミコ掛け


作り方

- (1) フライパンにオリーブ油をひき、塩・こしょうした白身魚を皮目から弱火でじっくりと両面焼き上げる。白身魚を取り出す。
- (2) きのこマリネを作る。(1)のフライパンにオリーブ油を足し、つぶしたニンニク、ほぐしたきのこ類、白ワインを入れ、塩・こしょうをして中火で炒め、仕上げにバルサミコ酢としょうゆを回し掛ける。

材料(2人分)

白身魚	2切れ	シメジ	1パック
レンコン(下ゆてして厚切りに)	50g	マイタケ	1パック
パセリ(みじん切り)	適宜	ニンニク	1片
サニーレタス	1/4把	オリーブ油	大さじ1
パプリカ(赤、黄合わせて)	1/2個	バルサミコ酢	大さじ1
オリーブ油	大さじ1	しょうゆ	小さじ1
塩・こしょう	適宜	白ワイン	大さじ1
		塩・こしょう	適宜

きのこマリネ

(3) 皿にちぎったサニーレタス、食べやすい大きさに切ったパプリカ、レンコン、グリルした白身魚をのせ、パセリを散らし(2)を掛けて出来上がり。

《 年末年始営業のお知らせ 》

月 日	総務部 営農部 (本支所)	資材店舗 (本支所) 精米所	金融部		給油所	
			窓 口	A T M	愛別SS	上川SS
12/28(土)	休	業		9:00~ 12:30迄	8:00~ 18:00迄	8:00~ 18:00迄
12/29(日)	休				8:00~ 17:00迄	8:00~ 18:00迄
12/30(月)	通	常 営			8:00~ 18:00迄	8:00~ 18:00迄
12/31(火) 【大晦日】	休				8:00~ 12:00迄	8:00~ 12:00迄
1/1(水) 【元日】	休					業
1/2(木)	休					業
1/3(金)	休			業	9:00~ 16:00迄	9:00~ 16:00迄
1/4(土)	休			業	9:00~ 16:00迄	9:00~ 16:00迄
1/5(日)	休			業	8:00~ 17:00迄	8:00~ 18:00迄
1/6(月)	通	常 営		業	8:00~ 18:00迄	8:00~ 18:00迄
1/7(火)	通	常 営		業	8:00~ 18:00迄	8:00~ 18:00迄
1/8(水)	新年交礼会のため全業務 16:00までとさせていただきます					
1/9(木)	通	常 営		営		業